

令和6年度第1回君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議 次第

日 時 令和6年8月28日（水）

午後2時から

場 所 君津市役所6階災害対策室

1 開会

2 挨拶

3 委員紹介

4 議題

（1）デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証について

（2）君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗状況等について

5 閉会

【配布物】

- ・ 次第
- ・ 席次表
- ・ 委員名簿
- ・ デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証について（資料1）
- ・ 君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗状況等について（資料2）

令和6年度第1回 君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議 席次表

令和6年8月28日(水)
午後2時00分から
6階災害対策室

コセキ ツネオ
小関 常雄

座 長

ヨコオ タカヨシ
横尾 隆義

委員

ムタ トモヒコ
牟田 智彦

委員

オオタワ カズヒコ
大多和 一彦

委員

ヨネザワ トモミチ
米澤 朋通

委員

モリタ ヒロユキ
森田 博幸

委員

中企 画調 整課 峰 課 之長	鈴企 画政 策部 広 部 夫長	津企 画野 政策 部 広 次 昭長	正地 域づ くり 尚 課 紀長
--------------------------------	--------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------

鳥企 画飼 調整 課 賢 主 治事	木企 画川 調整 課 祐 係 輔長	片企 画倉 調整 課 丈 副 課 寛長	中地 域づ くり 村 亮 副 主 彦査
-------------------------------------	-------------------------------------	--	--

入
口

君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議委員名簿

	氏 名	職 名 等
1	えのもと みつお 榎 本 光 男	君津商工会議所 会頭
2	こせき つねお 小 関 常 雄	日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区 総務部君津庶務室 室長
3	えざわ たけお 江 澤 武 夫	君津市農業協同組合 代表理事組合長
4	せきや のぼる 関 谷 昇	千葉大学大学院社会科学研究院 教授
5	おおたわ かずひこ 大 多 和 一 彦	千葉銀行君津支店 支店長
6	しまぬき しんじ 嶋 貫 伸 二	日本政策金融公庫千葉支店 支店長
7	くらさか ひでふみ 倉 阪 秀 史	千葉大学大学院社会科学研究院 教授
8	よこお たかよし 横 尾 隆 義	株式会社47partners 代表取締役
9	よねざわ ともみち 米 澤 朋 通	一般財団法人地域活性化センター 事務局長
10	むた ともひこ 牟 田 智 彦	連合千葉南総地域協議会 事務局長
11	もりた ひろゆき 森 田 博 幸	木更津公共職業安定所 所長

議題（1）

デジタル田園都市国家構想交付金活用事業の効果検証について

新たな地域拠点を核とした きみつ魅力アップ・にぎわい 創出プロジェクト

※地方創生推進タイプ（横展開型）事業

2023(令和5)年度 事業報告

プロジェクトの概要

●目指す将来像・目的

持続可能なまちづくりのモデルケースとして、清和地域拠点複合施設「おらがわ」を核とする「人がつどい、にぎわいが生まれる」事業を展開し、各地区への横展開を図る。これにより本市全体での「まち」・「ひと」・「しごと」の好循環を生みだし、“つながりの連鎖”による更なるまちの活性化を図ることにより、将来都市像「ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ」の実現を目指す。

●事業計画期間 2023(令和5)年度から2025(令和7)年度 3年間

●事業の概要 3分野 11事業 (2023年度 対象事業経費 5,877,584円 交付率1/2)

多拠点居住促進・関係人口創出への取組	「地域で稼ぐ・働く」の促進	プロジェクト推進と担い手育成体制の構築
(1)清和の暮らしとシゴトづくり実践事業 (2)地域魅力発信マップ作成事業 (3)空き家を使おう、清和で暮らそう・魅力満喫アクティビティ開発 (4)サイクリストなど立ち寄り拠点強化事業 (5)君津の朝めし	(6)ワークスペース拠点充実化事業 (7)地域資源ものづくりデジタル工作機材設置 (8)デジタル工作機材活用事業 (9)安心して働ける地域づくり	(10)プロジェクト支援マネージャー招聘 (11)担い手組織育成横展開事業

多拠点居住促進・関係人口創出への取組

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(1)清和の暮らしとシゴトづくり実践事業	・ 地域資源を使った起業や地域づくり活動を生み出す支援となる、勉強会&トークイベント「循環の実感学校」（年間6回）の実施 ・ 通年参加者13名（うち市外より7名）	・ 「実感の循環学校」6回の実施 ・ 新たな活動の創造により重点を置き、地域内外をつなげるハブ人材の育成を目指す。
(2)地域魅力発信マップ作成事業	・ 地域への「関わりしろ」をテーマにした清和の魅力発信マップと地域のビジョンを示すマップを作成。 ・ 地域デザイナーと住民による、事前調査活動（まちあるき）を4回実施。インタビュー動画など撮影。	・ 調査活動の継続 ・ 年度内のマップ（紙面版・デジタル版）の完成。



(1) 実感の循環学校 第1回
指出一正氏（ソトコト編集長）をゲストに迎えて



(1) 実感の循環学校 第6回
古民家リノベゲストハウスにて、報告発表会



(2) 魅力発信マップ作成
調査活動後のマップ作成会議

多拠点居住促進・関係人口創出への取組

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(3)空き家を使おう、清和で暮らそう・魅力満喫アクティビティ開発	・関係団体への支援を通して、地域の空き家調査や、空き家所有者向けの貸し方・売り方等に関するセミナーを実施。利活用モデルとして交流拠点「清和ウェルカムハウス」の整備。 ・地域体験プログラム情報発信サイトの開設。	・清和ウェルカムハウスを活用した地域アクティビティの展開。 ・地域住民向け空き家相談会や、移住希望者向けの地域ツアーなどの開催。
(4)サイクリストなど立ち寄り拠点強化事業	・鹿野山の麓に位置する「おらがわ」を立ち寄り地として定着化させ、繰り返し君津市に訪れるサイクリストを増やす。 ・「立ち寄りお試しDAY」開催（2回）来訪サイクリスト24名。アンケートの実施 ・WEBサイトによる情報発信	・「立ち寄りDAY」の他、サイクリングイベントなどに関連させた取組の実施や、新規イベントの企画 ・「おらがわ」におけるサイクリスト関連品の整備（空気入れなど） ・WEBサイト、SNSによる情報発信
(5)君津の朝めし	・関係団体への支援を通して、清和地区周辺の観光地を訪問する観光客に向けて、メインとなる目的地の訪問前に、「おらがわ」において、羽釜でご飯を炊いて朝食にする体験イベントを実施。 ・運営体制の確立、試行イベント(2回)の実施	・春季、秋季の定期実施



「地域で稼ぐ・働く」の促進

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(6)ワークスペース拠点充実化事業	・「おらがわ」に設置されたコワーキングスペースへの機器・什物の設置により、その実用性を高め、新しい働き方が実現できる場、多様な働き方・活動の場としての充実化を図る。 ・コワーキングスペースへの複合機の設置	・コワーキングスペースへの複合機の設置（継続） ・民間企業との実証実験に伴う家具・什物の購入
(7)地域資源ものづくりデジタル工作機材設置	・「おらがわ」にデジタル工作機材を設置し、清和の地域資源を用いたものづくりやフリーランス型のビジネス創業・商品づくりなどに向けた活用を図る。 ・工芸室にデジタル木工機器（CNCルーター）を設置	・工芸室に3Dプリンター等の設置（リース）



(6) ワークスペース拠点充実化事業
「おらがわ」内コワーキングスペースの様子



(7) 地域資源ものづくりデジタル工作機材設置
「おらがわ」工芸室に、デジタル木工機器（CNCルーター）を設置



「地域で稼ぐ・働く」の促進

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(8)デジタル工作機材活用事業	・設置するデジタル工作機材の利用促進を図り、「ものづくり」と「まちづくり」を結び付けることができる人材を育成するためのワークショップを実施（1回）。参加者6名	・ワークショップの通年開催
(9)安心して働ける地域づくり	・清和地区の住民の働き方の選択肢を増やし、住み続けられる地域づくりの実現を図るため、関係団体への支援、住民の相互協力による平日夕方の子どもの居場所づくり・見守り活動を実施。年間28回開催。参加児童のべ619人 ・地域団体と連携した見守り隊の確保	・「おらがわ」での学期期間中の平日毎日を目指し、体制を整備。



(8) デジタル工作機材活用事業
ワークショップの実施



(9) 安心して働ける地域づくり
子どもの居場所づくり・見守り活動

プロジェクト推進と担い手育成体制の構築

取組	概要と2023年度実施状況	2024年度の方方向性
(10)プロジェクト支援 マネージャー招聘	・全国各地で住民活動と企業連携によるまちづくりを手掛ける地域協働コーディネーターを招聘 ・会議、打合せ、現地調査などによる助言・支援（年間116回） ・民間企業、外部人材とのマッチングや周知支援（年間17回）	・①本プロジェクト全体への助言と推進支援 ②地域、企業、行政の関係性の構築 ③地域組織の事業性確立に向けた支援及びマネジメント の3点を委託
(11)担い手組織育成横 展開事業	・市内各地区における住民主体の地方創生担い手となる地域協議会設立に向けた制度設計と、それに向けた地域懇談会（全5会場）の実施	・地域づくり協議会認定1地区 ・地域づくり協議会設立準備会の発足2地区と、関連するワークショップ等の実施



(10) プロジェクト支援マネージャー招聘
おきなまさひと氏
(まちびと会社visionArea 共同代表)



(11) 担い手組織育成横展開事業
「シン地域づくり懇談会」5会場開催

交付対象事業の重要業績評価指標（KPI）

	KPI		開始前	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)	実績値の課題・今後
1	イベントなどへの市外からの参加者数／年		計画値(前年度比)				・ 7 種のイベントで、市内参加157人、市外参加88人であった。 ・ 2024年度も継続して、地域内外の参加を得る取り組みを実施する。
				30人増	70人増	100人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0人	200人	0人	88人(88人増)			
2	活動が新たに始まった地域ビジネスなどの数／年		計画値（前年度比）				・ 支援マネージャーの積極的な関与により最初の 1 件の実績を得ることができた。 ・ 清和の暮らしとシゴトづくり実践事業などを通して積極的な支援を継続する。
				1件増	2件増	2件増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0件	5件	0人	1件(1件増)			
3	コワーキングスペースの利用者数（月平均）		計画値（前年度比）				・ HP開設や各所へのチラシの配架などに努めたが、計画値には届かなかった。 ・ 上記に加え、県サイト等への掲載やSNSによる情報発信、また、部屋の付加価値向上などにより利用者増を図る。
				120人増	120人増	120人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	0人	360人	0人	33人(33人増)			
4	地域組織の運営に関わる人		計画値（前年度比）				・ 各種事業の運営が中心となり、会員募集周知に手が回らなかったことや、組織の性質への理解が広がらなかったことにより計画値に達しなかったと推察される。 ・ 組織独自の広報に加えて、市による情報発信を行い、担い手を創出していく。
				17人増	15人増	10人増	
	2022年度	2025年度	実績値				
	38人	80人	38人	51人(13人増)			



令和6年度第1回君津市「まち・ひと・しごと創生」有識者会議

議題（2）

君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の進捗状況等について

令和6年8月28日(水) 午後2時～

君津市役所6階 災害対策室

資料2

総合戦略趣旨

人口減少に歯止めをかけ、活力ある地域を維持していく！

第2期君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の6つの基本目標

- 1 安心して働ける環境をつくる（戦略的プロジェクト）
- 2 子育て世代が住みやすいまちをつくる（戦略的プロジェクト・重点取組施策）
- 3 環境グリーン都市をつくる（戦略的プロジェクト）
- 4 デジタル技術を活用して新たな価値をつくる（戦略的プロジェクト）
- 5 君津へのひとの流れをつくる
- 6 つながり・支え合いによる安全安心なまちをつくる

※戦略的プロジェクト→総合戦略の中でも特に戦略的・重点的に取り組むもの。

※重点取組施策→若い世代の人口流出に歯止めをかけ、誰もが将来にわたり君津に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりに向けて令和6年度重点的に取り組む3つの施策。【子育て・教育・住まい】

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

I 安心して働ける環境をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
労働力人口（就業者）	42,921人（H27）	-	43,100人	-
労働力人口（完全失業者）	1,606人（H27）	-	1,445人	-

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
企業誘致・創業支援の推進	1-1 商工業振興	⑤企業誘致の推進
グリーン・デジタル化に関する支援	1-1 商工業振興	①持続的な経済発展の実現 ③地域を支える事業者の経営力強化
多彩な人材の活躍支援	1-1 商工業振興	④働きやすい環境づくり
	1-2 農林業振興	①多様な担い手が活躍できる環境の整備
	2-2 高齢者福祉	①高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり
	2-3 障害者福祉	②障害のある方の就労支援の充実
	5-3 人権・男女共同参画	③女性が活躍する社会の実現に向けた環境づくり

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
新規企業立地件数 （投下固定資産取得による立地奨励金対象件数）	-	0件	1件	累計2件	向上・維持
商業（卸売業・小売業）の年間販売額	152,568百万円（H28）	14,906百万円（R2）	-	167,824百万円	-
工業（製造品）の年間出荷額	775,998百万円（R1）	585,110百万円（R2）	903,487百万円（R3）	853,597百万円	達成
きみジョブの紹介による就職人数	48人（年間） 令和2年10月～令和3年9月	73人（年間）	74人（年間）	62人（年間）	達成

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

2 子育て世代が住みやすいまちをつくる（戦略的プロジェクト・重点取組施策）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
生産年齢人口（15～64歳）	45,829人（R2）	43,054人※	43,700人以上	低下

※ 策定時の人数を基準とし、これに住民基本台帳の増減数により集計（令和6年3月末時点）

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
子育て世帯が住みやすい住環境整備	4-7 都市創造・住まい	①市街地の都市機能の充実 ②良質な住宅の普及促進 ③空き家対策の推進 ④公園のリニューアルを始めとした都市空間の新たな魅力づくり
保育の受け皿整備などの子育て支援の推進	3-1 子育て	②保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
妊娠・出産・子育てなどにおける支援体制と教育施策の充実	3-1 子育て	①妊娠・出産・子育て期にわたる支援体制の充実 ③子育て家庭への支援体制の充実 ④結婚を希望する方への支援の推進
	3-2 学校教育	①子育てできる環境づくり ②生きる力を育む学校教育の推進 ③新しい時代に必要な資質・能力の育成 ⑤より良い学校環境の整備
	3-3 生涯学習	②子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
市街化区域内の居住人口	57,782人（R2年度）	57,300人	56,800人	57,800人	低下
保育所等利用待機児童数	85人（R3年度）	9人	0人	0人	達成
「この地域で、今後も子育てしていきたい」と思う人の割合	65.5% （H30年度～R2年度の平均値）	66.5%	66.6%	71.5%	向上・維持

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

3 環境グリーン都市をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
本市から排出される1年間の温室効果ガス	2,875千t-CO ₂ （H30）	-	減少させる	-

【施策（抜粋）】

取組の方向性	施策分野	施策の展開
水と緑の保全、森林の整備	1-2 農林業振興	②安定した農業経営の確立 ④森林整備の促進
	1-3 環境共生	②生活環境と自然環境の保全
環境に配慮した企業の立地、企業の脱炭素に向けた設備等の更新・導入等	1-1 商工業振興	①持続的な経済発展の実現 ⑤企業誘致の推進
	1-3 環境共生	①脱炭素社会の推進
	1-4 観光振興	①観光資源の磨き上げ
省エネルギー家電の利用、エコドライブ、ごみの4R促進	1-3 環境共生	③ごみの減量化・再資源化の推進
	3-2 学校教育	④脱炭素社会の実現に向けた環境教育の推進

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
森林施業面積	58ha（R2年度）	66ha	68ha	105ha	向上・維持
小系川と小櫃川のBODの環境基準適合率	100%（R2年度）	100%	100%	100%を維持	達成
新規企業立地件数（投下固定資産取得による立地奨励金対象件数）	-	0件	1件	累計2件	向上・維持
公共施設総量（H27年度）の削減	△8,006.92㎡ （H28年度～R2年度）	△2,252.05㎡ （R3年度～R4年度）	△2,361㎡ （R3年度～R5年度）	△17,164.20㎡ （R3年度～R8年度）	向上・維持
市民1人1日当たりのごみ総排出量	946g（R元年度）	908g	893g	861g	向上・維持
コミュニティバス及びデマンドタクシーの年間利用者数の合計人数	196,816人（R2年度）	216,847人	231,378人	280,000人	向上・維持

戦略的プロジェクトに係る基本目標の進捗

4 デジタル技術を活用して新たな価値をつくる（戦略的プロジェクト）

【数値目標】

指標	策定時	現状値（R5）	目標値（R8）	到達度
行政サービスのデジタル化を便利と感じている市民の割合（市民アンケート）	新規	67.2%	50.0%以上	達成

【施策（抜粋）】

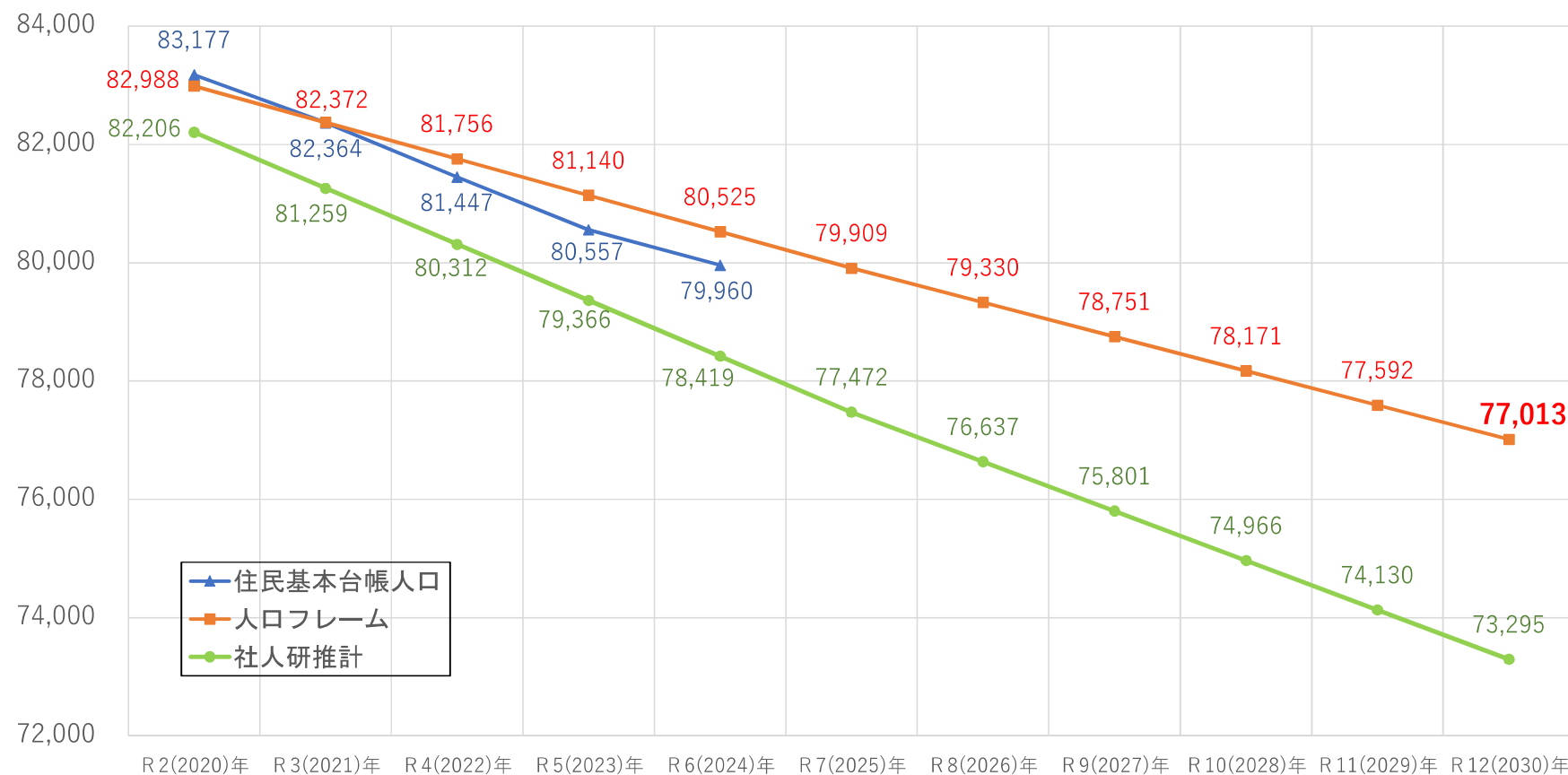
取組の方向性	施策分野	施策の展開
ゆとりと安心のある暮らしに向けた変革（暮らしの変革）	3-1 子育て	②保育環境の整備と特色ある幼児教育・保育の推進
	4-1 防災・減災	②災害に備えた環境の整備
	4-4 消防・救急	①市民の安全安心につなげる消防・救急体制の充実
	4-6 移動	①鉄道及び民間路線バスの利用促進 ⑤自動運転技術の活用に向けた研究
	5-6 行財政マネジメント	④デジタル化による住民サービスの向上及び行政経営の効率化
人材育成の推進や教育面における変革（知の変革）	3-2 学校教育	③新しい時代に必要な資質・能力の育成
	3-3 生涯学習	②子どもも大人も学び成長し続けられる機会の充実 ③自主的に学び続けられる読書環境の整備
地域の活性化に向けた産業の変革（産業の変革）	1-1 商工業振興	③地域を支える事業者の経営力強化
	1-2 農林業振興	②安定した農業経営の確立

【KPI】

指標	策定時	実績値		目標値（R8年度）	到達度
		R4年度	R5年度		
電子申請サービスの取組数	9（R2年度）	—	80	27	達成
授業中にタブレット端末を週3日以上使用するクラス	新規	63.3%	77.7%	80.00%	向上・維持
事業者のデジタル化に向けた啓発セミナーの開催回数	新規	0回／年	1回／年	2回／年	向上・維持
デジタルデバйд対策講座の開催回数	16回（R3年度上半期）	17回／年	66回／年	30回／年	達成

君津市人口動態

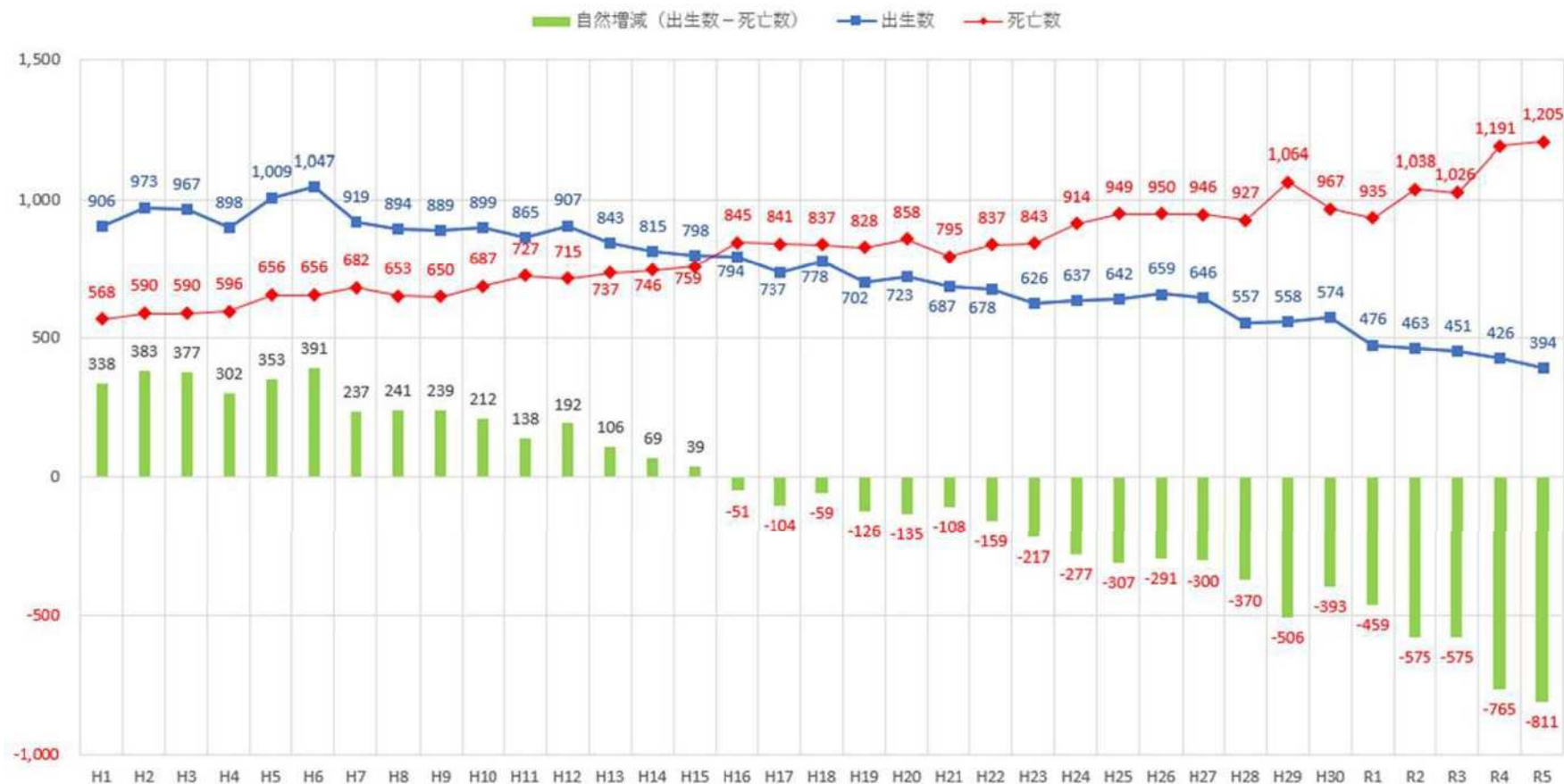
本市の住民基本台帳人口の推移は、令和5(2023)年社人研推計値を上回っているが、人口フレームの推計値を下回っている。



※住民基本台帳人口 R 6 (2024) 年 のみ6月末時点

自然動態の推移 令和5年は「自然減」加速

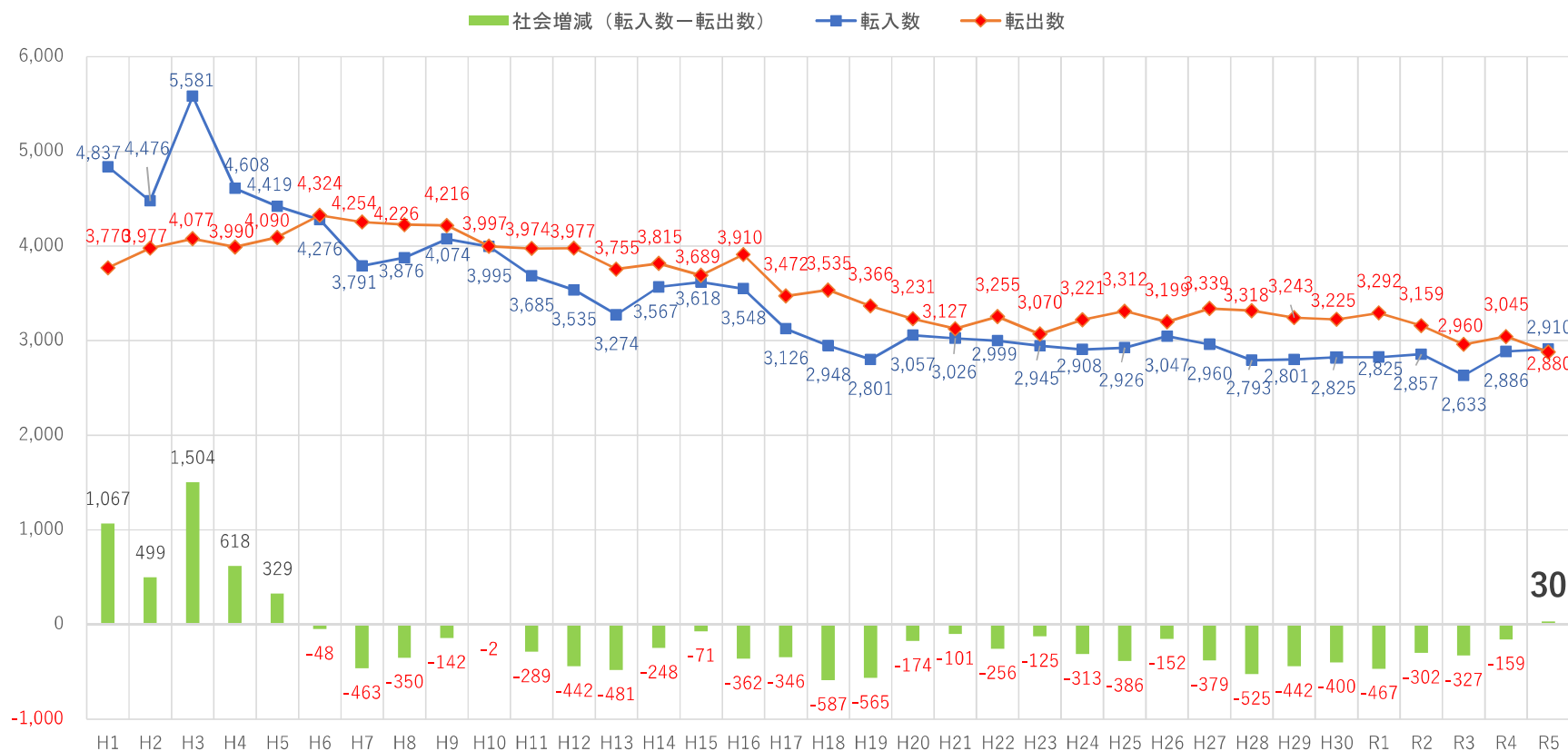
平成16（2004）年には死亡数が出生数を上回る「自然減」の状態となり、死亡数と出生数の差は拡大傾向にある。



出典：君津市「君津市統計書」千葉県「令和5年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成

社会動態の推移 令和5年は「社会増」達成

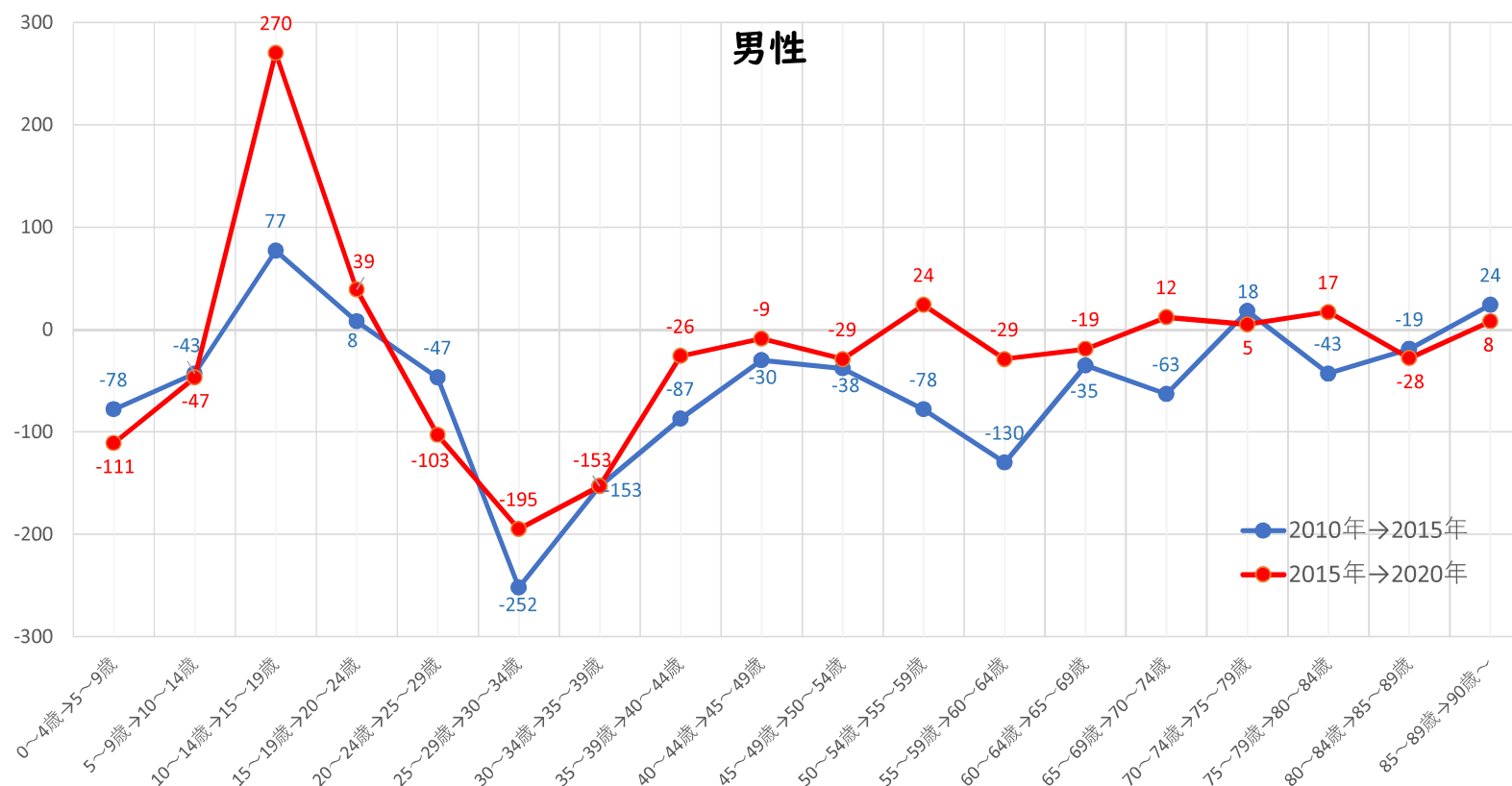
転入・転出数の推移をみると、平成6（1994）年以降、転出数が転入数を上回る「社会減」が令和4年まで続いていたが、転出数は減少傾向にあり、令和5年には「**社会増**」を達成した。



出典：君津市「君津市統計書」千葉県「令和5年千葉県毎月常住人口調査報告書(年報)」から作成

社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（男性））

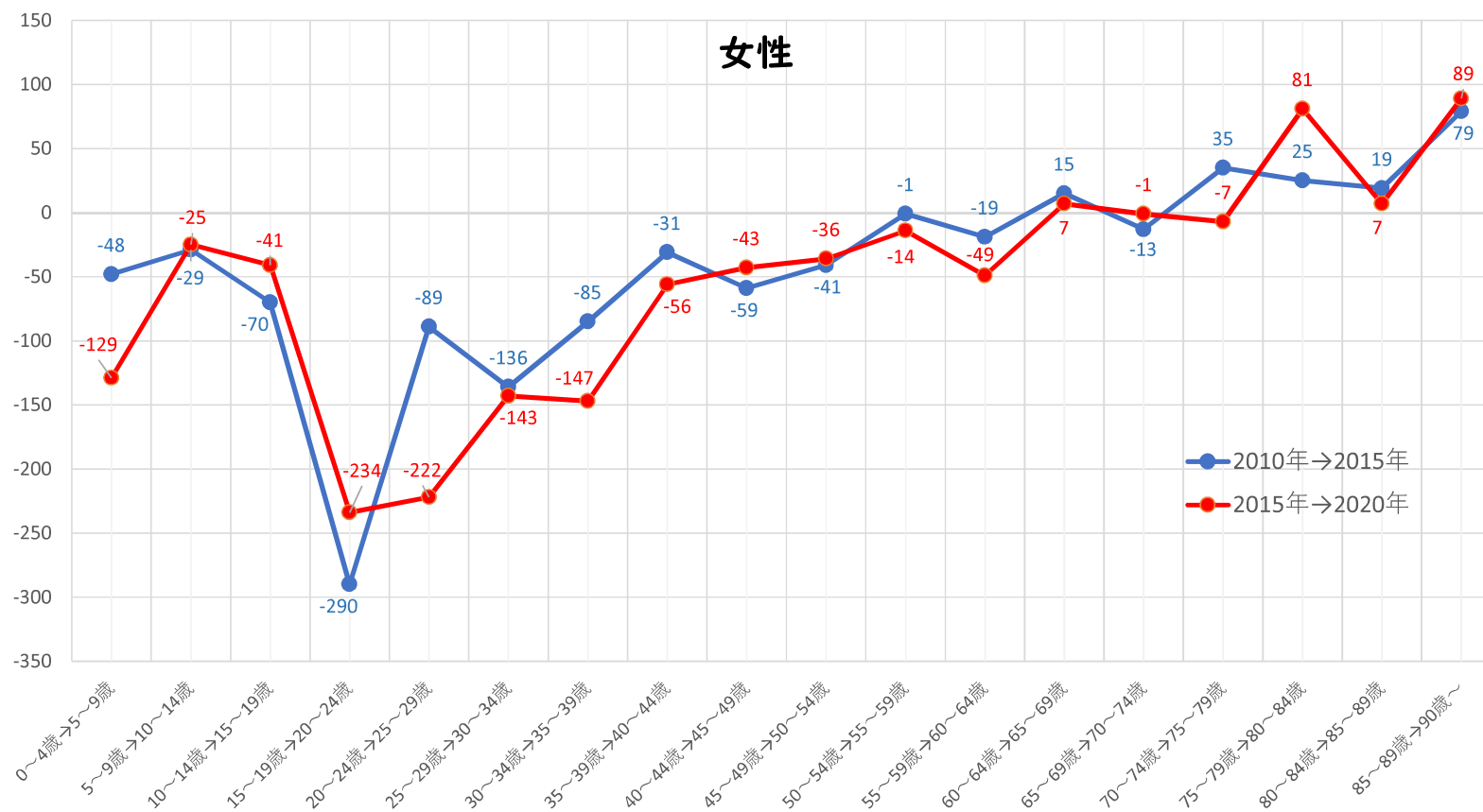
- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、男性で2015年に0～4歳の方が5年後の2020年に5～9歳となったときに111人減った。
- ・「2010年→2015年」と「2015年→2020年」を比較すると、多くの年代で減少幅が縮小傾向だが、若い世代の転出超過数は依然として高い数値となっている。
- ・「10～14歳→15～19歳」「15～19歳→20～24歳」で転入超過となり、「20～24歳→25～29歳」「25～29歳→30～34歳」「30～34歳→35～39歳」で大幅な転出超過となっていることから、就職等のタイミングで転入した方が、結婚や住宅購入等のタイミングで転出していると考えられる。



出典： RESASから作成 （元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

社会動態の傾向（年齢階級別純移動数（女性））

- ・年齢階級別純移動数：ある年齢幅の人数が5年後にどれくらいあったかを示す。例えば、女性で2015年に0～4歳の方が5年後の2020年に5～9歳となったときに129人減った。
- ・「2010年→2015年」と「2015年→2020年」を比較すると、グラフの形はほぼ同じだが、「20～24歳→25～29歳」が大きく減少している。
- ・「15～19歳→20歳～24歳」「20～24歳→25～29歳」のタイミングで大きく減少していることから、進学や就職等のタイミングで転出していると考えられる。



出典： RESASから作成 （元データ 総務省「国勢調査」、厚生労働省「都道府県別生命表」）

令和5（2023）年の転入出数の内訳

転入数は木更津市が437人と最も多く、次いで富津市が295人、袖ヶ浦市が98人である。
転出数は木更津市が641人と最も多く、次いで富津市が205人、袖ヶ浦市が134人である。

転入



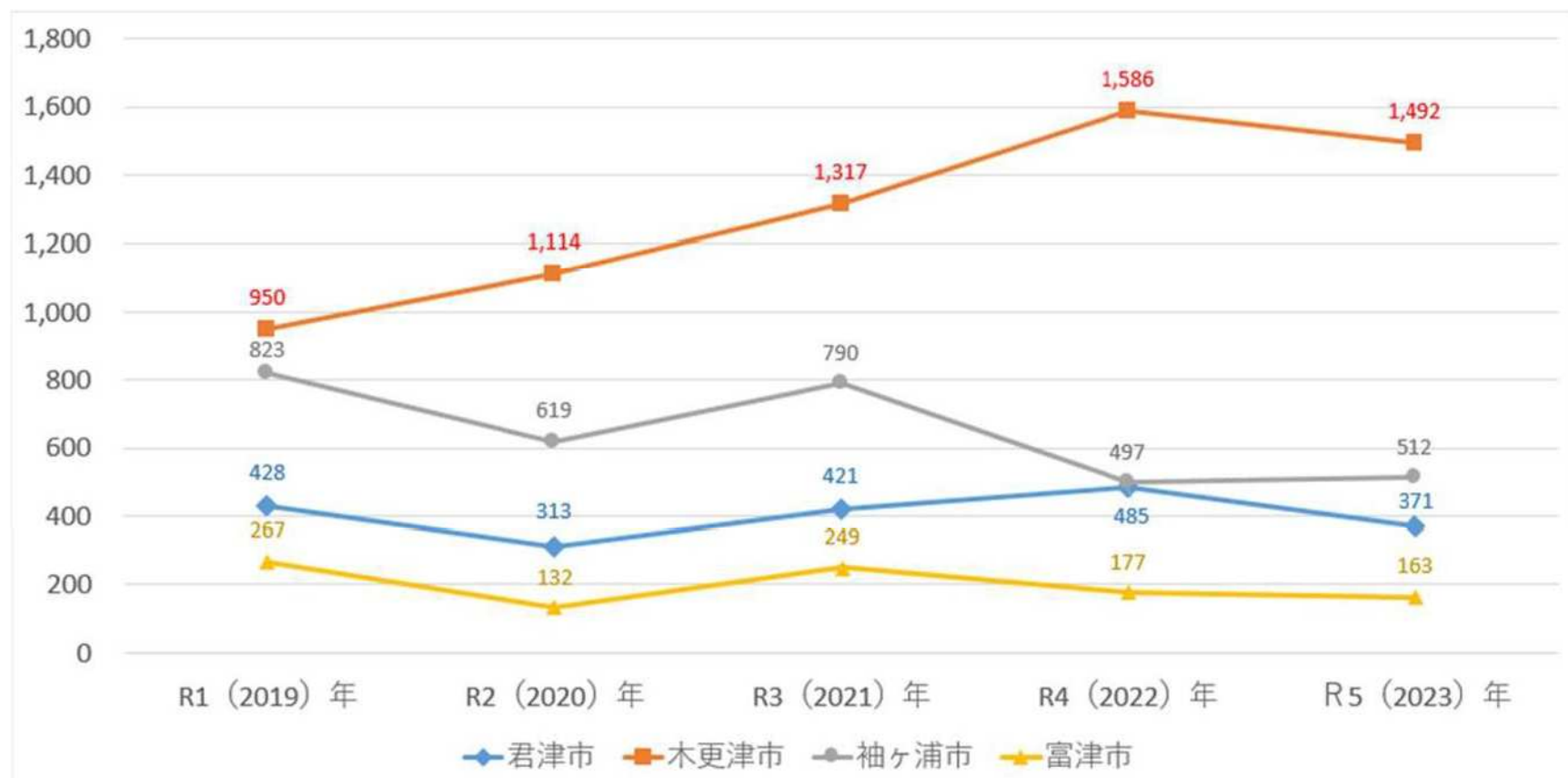
転出



出典：RESAS 人口の社会増減
From-To（定住人口）

新設住宅着工件数の推移

新設住宅の着工件数の推移は、木更津市は増加、袖ヶ浦市は減少、君津市・富津市は横ばいである。



出典：千葉県建築着工統計 月別・年度別資料

新設住宅：新築（旧敷地以外の敷地への移転を含む。）、増築又は改築によって住宅の戸が新たに造られるもの。
利用関係：持家、貸家、分譲住宅、給与住宅